

建設系廃プラデータカード

L4	PS-01-1	名称	発泡スチロール
▶ポリスチレン樹脂(PS)を微細な泡で約50倍に膨張させた素材。98%が空気のため、処理費(運搬費)の掛かる特殊品目とされる。 ▶基礎型枠工事や土木工事(盛土材料として大型発泡スチロールブロックを積み重ねて使用)や資機材の梱包緩衝材として利用。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化	
PS	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	■ 梱包材・緩衝材	■ 無			★	★	★	★
			■ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	□ 少						
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	□ 多						
			■ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)	□ 多						
			■ 解体	□ 管(筒)状								
			□ その他	■ 成型品								

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事等	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

建設系廃プラデータカード

L4	PS-01-2	名称	発泡スチロール (汚れあり)
▶ポリスチレン樹脂(PS)を微細な泡で約50倍に膨張させた素材。98%が空気のため、処理費(運搬費)の掛かる特殊品目とされる。 ▶基礎型枠工事や土木工事で出る発泡スチロールの中には、土砂などによる汚れの付着したものが少なくない。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	排熱利用	再資源化等 燃料化	再資源化 高度熱回収
PS	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	■ 梱包材・緩衝材	■ 無	★	★	★		★
			■ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	□ 少	★	★	★		★
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	□ 多	★	★	★		★
			■ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)		★	★	★		★
			□ 解体	□ 管(筒)状			★	★	★		★
			□ その他	■ 成型品			★	★	★		★

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事等	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましい資源循環
 望ましい
 ★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



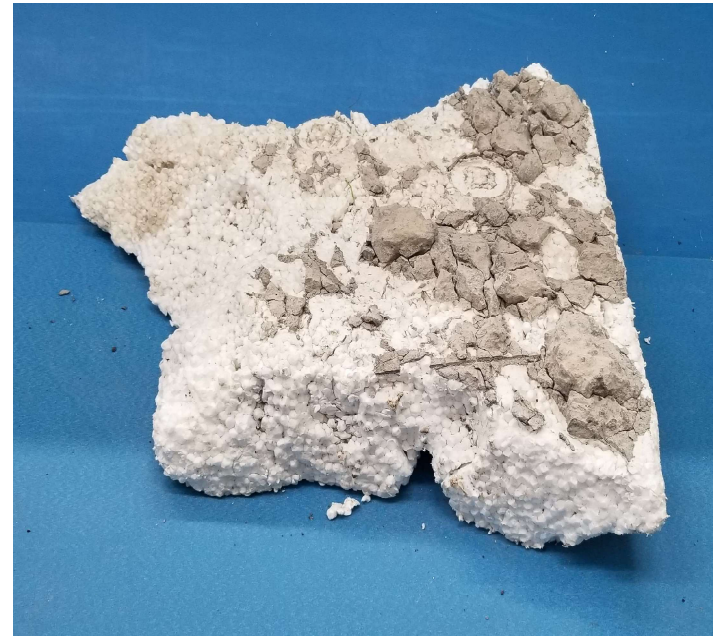
排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

建設系廃プラデータカード

L4	PS-01-3	名称	発泡スチロール (異物付着)
▶ポリスチレン樹脂(PS)を微細な泡で約50倍に膨張させた素材。 98%が空気のため、処理費(運搬費)の掛かる特殊品目とされる。 ▶基礎型枠工事や土木工事で出る発泡スチロールの中には、汚れや 異物付着のものがある。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	排熱利用	再資源化等 燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
PS	硬質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☒ 梱包材・緩衝材	☐ 無							
			☐ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材	☐ 少							
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☐ 多							
			☒ 土木	☐ 板状	☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)								
			☐ 解体	☐ 管(筒)状									
			☐ その他	☒ 成型品									
★	☆	☆			☆								

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事等	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましい
 資源循環
 望ましい

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【ケミカルリサイクル】 ▶異物の付着が少ないことを条件にコークス炉・ガス化原材料として利用可能。
【再資源化等】 ▶異物の付着が少ないことを条件に排熱利用施設への搬入可能。
【単純焼却】 ▶異物の付着が少ないことを条件に単純焼却施設への搬入可能。

建設系廃プラデータカード

L4	PS-02-1	名称	ポリスチレンフォーム (新築端材)
▶ポリスチレンを加熱溶融し、発泡剤、難燃剤を添加し原板を押出成形して作られた板状の発泡プラスチック断熱材。(大半が青、緑) ▶発泡剤として使用されてきたフロンガスが解体時に大気中に放散しないよう焼却処分が望ましい。(2006年度以降のものはノンフロン) ▶人体に有害なHBCDが使用されている2015年以前のものも同様。			

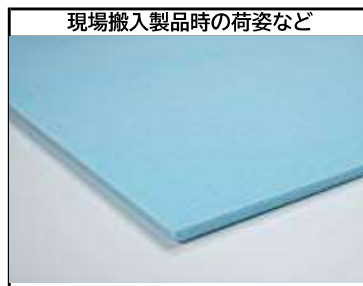
廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	
PS	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	■ 無 ↑ 少 ↓ 多	★	★	★	★	★
			□ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材						
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材						
			□ 土木	■ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)						
			□ 解体	□ 管(筒)状							
			□ その他	□ 成型品							

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事等	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★:該当
 ☆:条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
	▶「スタイロフォーム」は米ダウ・ケミカル社製品の商標名。

建設系廃プラデータカード

L4	PS-02-2	名称	ポリスチレンフォーム (汚れあり)
▶ポリスチレンを加熱溶融し、発泡剤、難燃剤を添加し原板を押出成形して作られた板状の発泡プラスチック断熱材。(大半が青、緑) ▶発泡剤として使用されてきたフロンガスが解体時に大気中に放散しないよう焼却処分が望ましい。(2006年度以降のものはノンフロン) ▶人体に有害なHBCDが使用されている2015年以前のものも同様。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化	
PS	硬質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無			★	★	☆	☆
			☐ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材	☐ 少						
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☒ 多						
			☐ 土木	☒ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)							
			☒ 解体	☐ 管(筒)状								
			☐ その他	☐ 成型品								

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事 ●	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事 ●
17	発泡ウレタン工事等	38	衛生工事 ●
18	防水工事 ●	39	空調工事 ●
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	建具工事 ●	41	直接仮設工事
21		42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
	【再資源化等】 ▶汚れが少量であることを条件に、高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。

建設系廃プラデータカード

L4	PS-03-1	名称	廻り縁(非塩ビ) (新築端材)
▶天井と壁の接合部分を美しく仕上げるために使用される「見切り縁」。市場に出回るものはほぼ軟質系PVC。 ▶「硬質ポリスチレン」と「発泡ポリスチレン」とに分類されるPS(ポリスチレン)樹脂のうち、廻り縁は「硬質ポリエチレン」に該当。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化	
									排熱利用	燃料化	高度熱回収	ケミカル
PS	硬質	熱可塑性	☒ 新築 ☐ 設備 ☒ 改修 ☐ 土木 ☐ 解体 ☐ その他	☐ 紐状・網状 ☐ 袋状 ☐ シート・フィルム状 ☐ 板状 ☐ 管(筒)状 ☒ 成型品	☐ 梱包材・緩衝材 ☒ 端材・余剰材 ☐ 仮設材 ☐ 使用済廃材 (養生材・容器等)	☒ 無 ↑ ☐ 少 ↓ ☐ 多	★	★	★	☆	☆	★
PS PVC	硬質	熱可塑性										

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事 ●
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事 ●
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事 ●	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましい
 資源循環
 望ましい

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶高度熱回収(RPF)、燃料化の原料として利用可能。(但し、硬質プラはRPFや燃料化原料にはあまり適さない。プラフ原料には不適。) ▶高度熱回収(RPF)、燃料化の原料として利用可能。(但し、硬質プラはRPFや燃料化原料にはあまり適さない。プラフ原料には不適。)

建設系廃プラデータカード

L4	PS-03-2	名称	廻り縁(非塩ビ) (改修・解体)
▶天井と壁の接合部分を美しく仕上げるために使用される「見切り縁」。 ▶新築の場合と異なり、改修・解体現場からは接着剤などが付着した廻り縁の廃材が排出される。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法				
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等 排熱利用	高度熱回収	再資源化
PS	硬質	熱可塑性	☐ 新築 ☐ 設備 ☒ 改修 ☐ 土木 ☐ その他	☐ 紐状・網状 ☐ 袋状 ☐ シート・フィルム状 ☐ 板状 ☐ 管(筒)状 ☒ 成型品	☐ 梱包材・緩衝材 ☐ 端材・余剰材 ☐ 仮設材 ☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)	☐ 無 ☒ 少 ☐ 多	★	★	★	☆	☆

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事 ●
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事 ●
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事 ●	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【ケミカルリサイクル】

▶異物付着が少なければ、コークス炉・ガス化原材料として利用可能。

建設系廃プラデータカード

L4	PS-02-3	名称	ポリスチレンフォーム (異物付着)
			▶ポリスチレンを加熱溶融し、発泡剤、難燃剤を添加し原板を押出成形して作られた板状の発泡プラスチック断熱材。(大半が青、緑) ▶発泡剤として使用されてきたフロンガスが解体時に大気中に放散しないよう焼却処分が望ましい。(2006年度以降のものはノンフロン) ▶人体に有害なHBCDが使用されている2015年以前ののものも同様。

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化		
PS	硬質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無			少	↓	多	★	☆
			☐ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材	☐ 少							
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☐ 多							
			☐ 土木	☐ 板状	☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)								
			☒ 解体	☐ 管(筒)状									
			☐ その他	☒ 成型品									

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
	▶解体・改修工事から排出されるものには異物付着のものが少なくない。 【ケミカルリサイクル】 ▶異物付着が少なければ、コークス炉・ガス化原材料として利用可能。 【再資源化等】 ▶異物が少なく、かつ可燃物であることを条件に、高度熱回収(RPF)、燃料化、排熱利用の原料として利用可能。 【単純焼却】 ▶異物が可燃物であることを条件に、単純焼却施設への搬入可能。

建設系廃プラデータカード

L4	PS-04-1	名称	面木 (汚れなし)
▶鋭利なコンクリート・コーナーに人や物がぶつかることで生じる怪我やモノの損傷を防ぐために、建物の柱や壁の角に使われる三角柱の形をした発泡スチロール製の材料。(ゴム製もある) ▶剥離性が良く、コーナー部をシャープに仕上げる役割もする。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化	
PS	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無			↑	少	↓	多
			□ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	□ 少						
			□ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	□ 多						
			□ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)							
			□ 解体	□ 管(筒)状								
			□ その他	■ 成型品								

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事 ●	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事等	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事 ●	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
→
望ましい
資源循環

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【再資源化等】

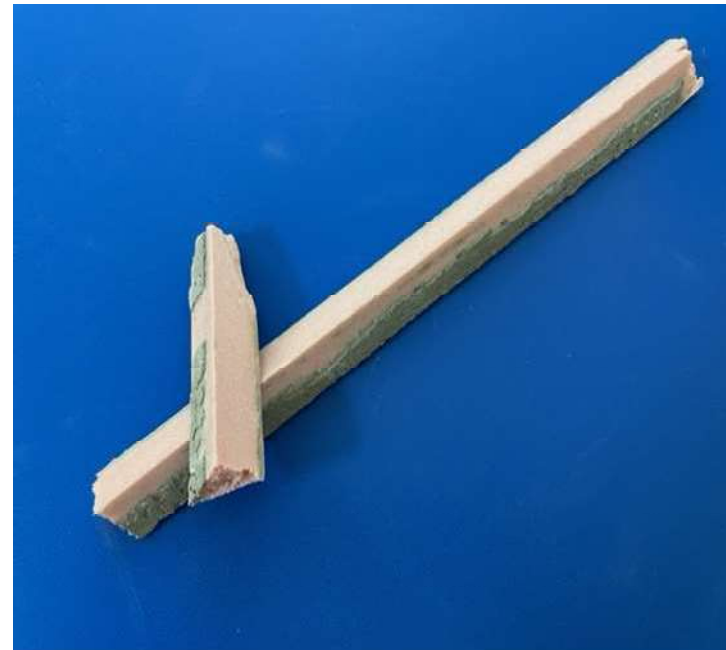
▶高度熱回収(RPF)、燃料化の原料として利用可能。(但し、硬質プラはRPFや燃料化原料にはあまり適さない。フラフ原料には不適。)

建設系廃プラデータカード

L4	PS-04-2	名称	面木 (異物付着)
▶鋭利なコンクリート・コーナーに人や物がぶつかることで生じる怪我やモノの損傷を防ぐために、建物の柱や壁の角に使われる三角柱の形をした発泡スチロール製の材料。(ゴム製もある) ▶面木(コンクリート型枠)の使用済廃材。これにはコンクリート付着のものが少なくない。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等		再資源化		
PS	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	埋立処分	単純焼却	排熱利用	燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
			□ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	□ ↑							
			□ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	□ ↓							
			□ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)	□ 多							
			□ 解体	□ 管(筒)状									
			□ その他	■ 成型品									

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事 ●	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事等	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事 ●	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★:該当
 ☆:条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【ケミカルリサイクル】

▶異物付着が少なければ、コークス炉・ガス化原材料として利用可能。

【再資源化等】

▶コンクリートの付着の程度が少ないことを条件に、排熱利用施設での利用可能。

【単純焼却】

▶コンクリートの付着の程度が少ないことを条件に、単純焼却施設への搬入可能。

建設系廃プラデータカード

L4	PS-05-1	名称	目地棒 (異物付着なし)
▶発泡剤を使った発泡目地棒の端材。コンクリート部に帯状の小さな溝(目地)を作るために使用。断面が台形に似た形状。 ▶床や壁の接合部分に使われる棒状の部材の目地棒にはABS・PS樹脂製のものとPVC樹脂製のものがある。 ▶ABS樹脂製はPSやPVC樹脂製のものよりも割れにくい。			

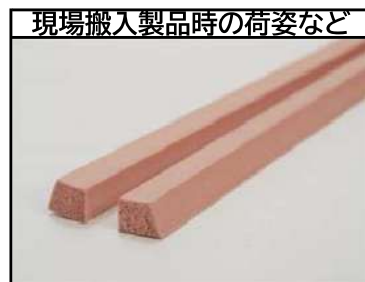
廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等	再資源化	ケミカル	マテリアル
PS ABS PVC	硬質	熱可塑性	☒ 新築 ☐ 設備 ☐ 改修 ☐ 土木 ☐ 解体 ☐ その他	☐ 紐状・網状 ☐ 袋状 ☐ シート・フィルム状 ☐ 板状 ☐ 管(筒)状 ☒ 成型品	☐ 梱包材・緩衝材 ☒ 端材・余剰材 ☐ 仮設材 ☐ 使用済廃材 (養生材・容器等)	☐ 無 ☐ 少 ☐ 多	★	★	★	★	★	★

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事 ●	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事 ●	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

建設系廃プラデータカード

L4	PS-05-2	名称	目地棒 (異物付着あり)
▶発泡剤を使った発泡目地棒。コンクリート部に帯状の小さな溝(目地)を作るために使用。断面が台形に似た形状。 ▶使用済みの目地棒にはコンクリートなどの異物付着のものが少なくない。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法										
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等		再資源化						
PS ABS PVC	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無	埋立処分	単純焼却	排熱利用	燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル				
			□ 設備	□ 袋状	□ 端材・余剰材	□ 少											
			□ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	□ 多											
			□ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)	★☆☆☆☆											
			□ 解体	□ 管(筒)状													
			□ その他	■ 成型品													

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事 ●	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事 ●	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい → 望ましい
 資源循環

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【ケミカルリサイクル】 ▶コンクリートなどの異物付着が少なければ、コークス炉・ガス化原材料として利用可能。
【再資源化等】 ▶コンクリートの付着の程度が少ないことを条件に、排熱利用施設での利用可能。
【単純焼却】 ▶コンクリートの付着の程度が少ないことを条件に、単純焼却施設への搬入可能。